

# 抗がん剤の治療を受けている患者さんにご家族の方へ

抗がん剤は、注射後、内服後しばらくの間、尿・便などの排泄物に残ります。便や尿に直接ふれても害をおよぼすことはまずありませんが、治療を受けている患者さん以外のご家族や、同居の方にも好ましくない影響を与える可能性がありますので、できる範囲で以下の対策をとられることをおすすめします。

## ①日常生活の注意点

- 排尿時、男性も洋式トイレ使用の場合は便座に腰かけて排尿して下さい
- 尿がこぼれた、飛び散った場合などはペーパーでふき取り、トイレに流して下さい
- 使用後に水を流す場合は、ふたを閉めて、多めの水か、または2回流して下さい
- トイレの後は、石けんで手をよく洗って下さい

## ②排泄物(尿・便)、嘔吐物の取り扱いの注意

- 使用後のストーマパウチや、オムツ、ナプキンなどの処理は手袋を着用しましょう。ビニール袋に入れてしっかりと口を閉め、密閉して一般ごみに捨てましょう
- オムツを使って排泄した場合は陰部やお尻をきれいに拭きましょう
- 排泄物が皮膚についた場合は、水道水で十分に流した後、石けんで洗いましょう

## ③排泄物・嘔吐物が付着した寝具や衣類の取り扱いについて

- 排泄物・嘔吐物・大量の汗で汚れた洗濯物は直接洗濯機に入れ、普段お使いの洗剤を使って2度洗いを行い、この時、他の洗濯物は分けて洗うようにしましょう
- 特に汚れてない場合は分けて洗濯をする必要はありません

## ④インフューザーポンプ使用中の患者さん、針を抜くお手伝いをされる方へ

- 薬の注入が終了し、針を抜く際は手袋を使いましょう
- 手袋を使用して針が抜きづらい場合は手袋は使わず、前後でよく手を石けんで洗いましょう
- 空になった容器はビニール袋に入れ、しっかりと口を閉め、病院に返却します

## <上記の対策をとる期間について>

☆抗がん剤注射後、2日間

☆内服の抗がん剤の場合は、最後の内服日から2日間